

# 水とふれあうまち

武蔵野の自然を色濃く残し、貴重な清流と湧水群を持つ東久留米。  
この豊かな水は、人とのかかわりの中でさまざまな顔を見せます。  
水辺には生きものたちが集い、子どもたちの笑い声も聞こえてきます。  
このまちの元気の源となる大切な水です。

## 南沢湧水群

落合川の水源地である南沢湧水群では、南沢緑地保全地域から1日約1万トンの湧水が流出しています。昔ながらの武蔵野の雑木林につつまれ、清冽な湧水が一年中枯れることなく、こんこんと地表に溢れ出ている場所です。南沢緑地は環境省の「平成の名水百選」と東京都の「東京の名湧水57選」に選ばれています。



## 平成の名水百選

水環境保全の一層の推進を目的に、昭和60年(1985年)選定の「名水百選」に加え、平成20年(2008年)に環境省が選定した新たな名水。地域の生活に溶け込んでいる清澄な水や水環境の中で、特に地域住民等による主体的かつ持続的な水環境の保全が行われている場所が対象です。



## さいかち窟

雑木林の奥に黒目川の源流である「さいかち窟」があり、窟の出口まで行くと水路の痕跡が残っています。普段は水のない窟地ですが、雨量が多い年には湧水が出現します。最近では、平成30年(2018年)、令和元年(2019年)に出現しています。

## 野火止用水

野火止用水は、承応4年(1655年)に徳川幕府老中の松平伊豆守信綱によって開削された用水路で玉川上水の分水です。昭和48年(1973年)に分水が停止されましたが、翌年には東京都が隣接する雑木林とともに、野火止用水歴史環境保全地域に指定。昭和59年(1984年)に流れがよみがえりました。

## 東京の名湧水57選

湧水に対して関心を持っていただくとともに、湧水の保護と回復を図るため、水量や水質、その湧水にまつわる由来、あるいは周辺の景観などに優れた湧水等57カ所を「東京の名湧水」として東京都が平成15年(2003年)に選定しました。



## 柳窪天神社前の湧水

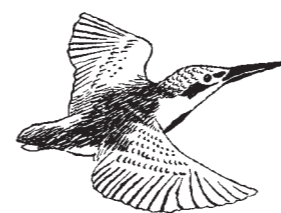
柳窪天神社前に湧いた黒目川の貴重な水源。「東京の名湧水57選」に選ばれており、近接した屋敷林や社寺林と合わせ、神社の参拝者や緑地を散策する人々に静かな安らぎを提供しています。柳窪天神社/木々に囲まれた階段上の神社。境内には市の有形文化財に指定されている柳窪梅林碑があります。柳窪4丁目15番(東久留米駅西口からバス約16分、下車徒歩約14分)

## 水辺に 生息する生きもの



### オナガカモ

冬鳥として国外から飛来する渡り鳥。3月末まで落合川や黒目川で群れている様子が見られます。



### カワセミ

光沢のある青緑色の背中とオレンジ色の腹部が美しい鳥。水辺の枝にとまり、魚を見つけると一気にダイビングして捕まえます。



### オナガ

長い尾っぽに水色の翼、黒い帽子が特徴です。オナガ同士は仲が良く、力を合わせて事に当たるといった習性があり、市の鳥にも選ばれています。



### ホトケドジョウ

身体はずんぐりしており、口ヒゲは4対あり、お腹が赤いのが特徴。湧水を好む希少な魚です。



## 落合川いこいの水辺

落合川は、夏場は子どもたちの格好の遊びの場となっています。ホトケドジョウがすみ続けられるような環境づくりのため、市民による清掃、草刈などのボランティア活動が今も続けられています。



## 黒目川

東久留米市柳窪のさいかち窟を源とする全長17.3kmの河川。河岸には下里本邑遺跡や小山台遺跡などがあり、大昔より人々の生活に欠かせない大切な水です。